



「ふれあい木工クラフト」開催！

令和7年4月29日～5月6日の8日間、あすなろ会こども遊学館で、GWイベント2025「木のおもちゃであそぼう！」が開催され、「木工具体験」や「モルック体験」などの様々な催しが行われました。当センターは、4月29日に、マツボックリやドングリ、木の枝・輪切りといった森林の素材で「森林の恵みを使って工作しよう！」をテーマとして、ふれあい木工クラフトを実施しました。



▽ふれあい木工クラフトの様子

わせて、「木の標本・タネの標本」の展示もしました。

あすなろ会こども遊学館のスタッフとボランティアの皆様にお手伝いいただき、多くの方々に参加していただくことができました。

当日は、朝から雨のため、室内でのイベントに、多くの親子連れが、木工クラフトに熱中している姿が見られ、森林の恵みを存分に使ったフォトフレームやタンチョウの作品等、完成したものと笑顔で写真を撮る姿が印象的でした。

GW期間に、ご家族や友達と一緒に木工クラフト作りを楽しんでいる様子が見られるイベントが開催でき、良かったと感じました。来年も木に触れ合う機会として、協力したいと考えています。



▽完成した作品の様子

「北の森カルタ」で大盛り上がり

令和7年5月8日、標茶町立虹別中学校において、環境学習の時間で「森林講話」を実施しました。

この取組は、令和4年度より実施しており、今年は、3年生9名にパワーポイント資料で実施しました。まず、身近な樹木について、樹名の由来を含め説明し、生徒はしっかりとメモをとっていました。余談として北海道の花について聞いたところ、何故か、カリフラワーとの発言があり皆の笑いを受けていました。

その後、林業（循環する産業）について、「伐って・使って・植えて・



▽「森林講話」の様子



▽「北の森カルタ」の様子

育てる」を循環する産業であること、今使っている木材は、昔の人々が育てたものであり、将来のために、森林を整備していくことが大切であるとお伝えしました。

最後に、「北の森カルタ」を実施し、生徒から「もう1回やりたい!」との強い要望があり今度は、先生も参加し熱いバトルをしていました。終了後の生徒代表の挨拶で、「今まで聞いたことのない単語が沢山あり、勉強になりました。」とお礼の言葉をもらいました。

今回の取組を通じて、森林の理解が深まればうれしく思います。

将来の学校林を願って

令和7年5月19日、標茶町立中茶安別小中学校の学校林において、「春の学校林活動」が行われ、全校生徒と父兄により活動しました。

開会式を体育館で実施後、スクールバスで学校林に移動しました。

まず、標茶町森林組合職員により苗木の植え方の説明、当センター職員より植栽木を野生生物の食害から保護するための「保護管（ツリーシェルター）」被覆の説明を行い、その後、3班に分かれて「トドマツ」「カラマツ」50本ずつ合計100本の苗木を森林組合が印をつけた箇所植樹をしました。

保護管の設置は枝が多くありシエルターの中に納めるのに苦労していましたが、協力しながら作業していました。

植樹終了後に、2年前に伐採した現場を見学し、10年以上の植樹活動ができると、説明がありました。

閉会式では児童生徒会長から、「私たちの植えたこの苗木が大きく成長し、10年、20年後には、この学校林の中心となるような大木に成長して、学校林がいつまでも受け継がれていくって欲しいと思います。」と、ご挨拶がありました。



▽作業完了後の様子



▽植樹と保護管被覆の様子



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。